

## 音楽科学習指導案

## 題材名「ようすを おもいうかべよう」

学 年：第1学年26名（男子14名・女子12名）

日 時：平成24年10月30日（火）

場 所：1年教室

指導者：森川 淳子

## 1 題材について

## 【題材の目標】

- 楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。
- 歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫する。

【学習指導要領】「A表現」（1）歌唱イ， 「B鑑賞」イ

## 〔共通事項〕

(1) ア  
(ア) 強弱，速度(1) イ  
4分音符，8分音符【教材】・鑑賞曲 「おどる こねこ」 アンダソン 作曲  
・歌唱曲 「はる なつ あき ふゆ」 三浦 真理 作詞・作曲

## 【題材観】

本題材では、音楽を想像豊かに聴いたり、思いをもって表情豊かに表現したりすることを通して、音楽表現の楽しさ・面白さに気付くことをねらいとしている。

鑑賞教材の「おどるこねこ」は、ゆったりとした感じで始まり、元気のよい軽やかな感じへと変化し、またゆったりとした感じにもどるという構成になっている。強弱や速度の変化がはっきりとしており、曲想の変化を感じ取りやすい。曲に合わせて体を動かす活動を通して、楽しみながら曲想の変化を感じ取ることができる教材である。

歌唱教材の「はる なつ あき ふゆ」は、「おおきなくじら」「ちいさなほしが」「わたげがふわり」「たいうきらきら」などの歌詞から、それぞれの季節のイメージを豊かに膨らませることができる。歌詞から膨らませたイメージに合う歌い方を工夫する活動を通して、表現に対する自分の考えや願いをもって歌うことができる教材である。

第一次では、鑑賞曲を体を動かしながら聴き、速度や強弱がもたらす曲想の変化を感じ取ることができるようにする。速度や強弱に注目して聴く活動を仕組むことで、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのかわり合いを感じ取って楽しく聴くことができる。

第二次では、鑑賞曲から感じ取ったことをもとに、強弱や速度の変化がもたらす曲の気分の違いを表現の工夫へつなげさせていく。その際、歌詞の中から表現の工夫の手掛かりを見付け、自分の感じたことを思いをもって歌うことにより、歌唱表現の面白さに気付くことができる題材構成とした。

## 【児童観】

本学級の児童は、歌うことに興味・関心が高い。音楽アンケートでは全員が「歌うことが好き。」と答えており、「新しい歌をたくさん歌いたい。」と答えている。

「うたでなかよし」の学習では、音楽に合わせて動物になったり歩いたりする活動に意欲的に取り組んだ。また、「うみ」を歌うときには、波の様子を体を動かすことで表現しながら歌った。これらの活動を通して、旋律や曲想を感じ取ることはできるようになってきた。しかし、歌唱表現する際、感じ取ったことを強弱や速度などに変化をつけて表現できる児童は少ない。

## 【指導観】

## 【言語活動の充実】

- ・楽曲全体からイメージする様子を、強弱や速度をキーワードとしてまず体を動かしながら曲の気分を感じ取らせ、表現の工夫につなげることができるようにする。

## 【教材・教具の工夫】

- ・鑑賞曲を聴いて感じ取ったことをもとに、強弱や速度を変化させて様々な表現の工夫ができるようにする。
- ・「ふわり→小さい声で」「つぼんだ→ゆっくりと」など子どもたちからでてきたことばを工夫のポイントとして提示することで、表現の工夫を考えやすいようにする。

## 【学習形態】

- ・4人グループでの班学習を仕組み、自分たちが考えたイメージをどのように表現していくか話し合い、考えることができるようにする。

## 2 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①速度や強弱のかかわり合いを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【鑑賞】	①速度や強弱の変化を聴き取り、歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うか自分の考えや願いをもっている。 【歌唱】	①歌詞の表す情景や気持ち、楽曲の気分合った表現で歌っている。 【歌唱】	①速度や強弱を聴き取り、速度・強弱のかかわり合いを感じ取って聴いている。 【鑑賞】
②歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【歌唱】			

## 3 題材構成の工夫

### C「表現領域と鑑賞領域を関連付けて構成」(鑑賞→歌唱)

#### 【鑑賞】



・鑑賞曲に合わせて体を動かしながら、強弱や速度の違いからもたらされる曲想の変化をしっかりと味わわせる。

#### 【歌唱】

・季節のイメージを考え、季節ごとの違いを、鑑賞曲で曲想の変化について感じたことをもとに、強弱や速さを工夫して表現できるよう意識させる。

## 4 指導と評価の計画 (全5時間・本時 第二次 第4時)

次	領域・分野	教材	時	◎ねらい ○学習活動 ・学習内容	ア	イ	ウ	エ	評価規準 (評価方法)
					関・意・態	創意工夫	表現の技能	鑑賞の態度	
第一次	鑑賞	おどるこねこ	第1時	◎様子を思い浮かべながら聴いたり身体表現したりして、楽曲の気分を感じ取る。 ○様子を思い浮かべながら、楽曲の気分を味わう。 ・曲全体を聴き、感じたことや気付いたことを発表する。 ・曲に合わせて体を動かし、楽曲の気分の変化を感じ取る。	○			◎	ア① (発言内容、行動観察) エ① (ワークシート)
			◎様子を思い浮かべ、身体表現をしたり歌い方を工夫したりしながら歌う。						
第二次	歌唱	はるなつあきふゆ	第2・3時	○曲のイメージをつかみ、「はる」の様子を思い浮かべ歌う。 ・歌詞を確認し、「はる なつ あき ふゆ」の歌の練習をする。 ・「はる」の歌詞のイメージに合わせて歌い方を工夫する。	◎		◎		ア② (発言内容、行動観察) ウ① (行動観察) イ① (行動観察)
			第4時(本時)	○それぞれの季節の歌詞のイメージを膨らませ歌い方を工夫する。 ・季節の様子が書かれている部分を探す。 ・歌詞の様子に合った歌い方を考える。 ・工夫した歌い方を交流する。		◎			イ① (ワークシート、行動観察)
			第5時	○活動を振り返り工夫して歌う。 ・自分たちの工夫した表現が相手に伝わるためにどのように歌ったらいいか振り返る。 ・「おどるこねこ」を聴き、強弱や速度の変化を思い起こさせ、表現の工夫につなげる。 ・歌詞の様子に合う表現の工夫が聴く人に伝わるように歌う。		○	◎		ウ① (行動観察) イ① (行動観察)

## 5 本時の学習（第二次 第4時）

### (1) 本時の目標

歌詞を大切に、イメージに合うように声の大きさ、速さを変えて表現できるように考える。

### (2) 観点別評価規準

歌詞の表す情景や気持ちを想像して速度や強弱などの表現を工夫し、どのように歌うか自分の考えや願いをもっている。 [イ①]

### (3) 準備物

教科書、拡大歌詞カード、挿絵、ワークシート

### (4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準[観点] (評価方法)
1 前時の振り返りをする。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             かしのかんじにあうようにうたおう           </div>	○前時に学習した「はる」の表現の工夫を振り返り、どのような工夫があったか確認する。  ○学習の流れを確認し、本時の学習のめあてをつかませる。	
3 様子を表す言葉を見付け、イメージをもち歌い方を考える。 4 班ごとに発表し交流する。  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 10px;">〔言語活動の充実〕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>(指導のポイント)</b></p> <p>歌詞を読み季節のイメージをもとに強弱・速さを工夫して表現することができるようにする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>(予想される児童の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおきなくじら」が泳いでいるから、大きな声で歌います。</li> <li>・「いそいでおでかけ」だから、急いでいるように少し速く歌います。</li> <li>・小さな星が光っているからやさしい声で弱く歌います。</li> <li>・冬の夜だから、寒い様子を表現するために声を弱くしてゆっくり歌います。</li> <li>・「ざぶん」のところが、力強く大きな声で歌えていたので、大きなくじらが泳いでいるように聞こえました。</li> <li>・「いそいで」のところが、テンポが速くなっていなかったため、もう少し速くした方がいいと思います。</li> </ul> </div>	○歌い方の工夫のポイントを示し、様子に合った歌い方の工夫を考えていくようにさせる。 ○なぜその表現方法になるかということもあわせて考えさせる。  ○聴く時のポイントを示し、互いの班の工夫を見付けることができるようにさせる。	○歌詞の表す情景や気持ちを想像して速度や強弱などの表現を工夫し、どのように歌うか自分の考えや願いをもっている。 [イ①]  (行動観察)
5 学習を振り返り、次時の学習内容を知る。	○強弱や速度を変えて歌うと、曲の様子が変わることに気付かせる。 ○録音した歌声を聴き、友だちにも工夫が分かるように歌うことを確認する。	

(5) 板書計画

めあて かしのかんじにあうようにうたおう

がくしゅうのながれ

- ・ふくしゅう
- ・めあて
- ・かんがえる
- ①ことばをさがす
- ②うたいかたをかんがえる
- ・はっぴょう
- ・ふりかえり

ふゆ

ふゆのよる	きたかぜ	おそらで	ちいさな
	つめたい	ひかる	ほしが

あき

こりすが ちよろり  
 どんぐりかかえ  
 いそいでおでかけ  
 あきのもり

なつ

おおきな くじら  
 ざぶんと もぐる  
 たいよう きらきら  
 なつのうみ

はる

たんぽぽ ゆれる ○  
 わたげが ふわり △  
 ちようちよが あいさつ  
 はるの みち

《うたいかたのくふう》

おおきなこえ・・・○  
 ちいさなこえ・・・△

はやく・・・  
 ゆっくり・・・

だんだんおおきく  
 だんだんちいさく